

- 純真無垢な若者の初恋
  - 美しい初恋
    - 17歳の民子
    - 15歳の政夫
  - 恋愛感情を率直に言葉にできない純真さ
  - 花の名前を織り交ぜた繊細な表現
- 二人を引き離す大人たち
  - 当初は二人を見守る
  - 世間体を気にし始める
    - とくに母親
  - 民子
    - 裕福な家からの縁談⇒結婚⇒病死
    - 遺品
      - 政夫への変わらぬ想い
      - 大人たちは深い後悔
- 永遠に心に刻まれる想い
  - 病死の民子の手
    - 政夫の写真と手紙
    - 大人たちは政夫に謝罪
  - 政夫
    - 「悪気はない」と大人たちを許す
    - 民子の墓一面に野菊を植える
    - 永遠の想いを誓う